2021年 8月 1日 No.210　　発行責任者 田中 孝史

かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしん

第210号

郵政産業ユニオン PIWU TOKYO
郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031 東京都中央区京橋3−6−3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

会社幹部が真摯に謝罪

さいたま新都心局の過労自死事件

さいたま新都心局過労自死事件は、何回か報じましたが、また新たな前進です。

ここに至るまでに粘り強い運動が

Kさんは2010年12月、当局の過剰なノルマとパワハラによって自死しました。遺族はこの自死に疑問を持ち、2013年12月に裁判所に提訴。この提訴は新聞にも大きく報じられました。

最初、困難なたたかいを余儀なくされましたが、郵政ユニオンをはじめ、「過労自死事件の責任を追及する会」の広がり、そして、Kさんと一緒に働いていた仲間の証言もあって運動は大きく前進していったのです。

こうしたたたかいで2016年10月、会社の安全配慮義務違反で勝利的な和解、2020年3月には労働災害に認定させました。

遺族は会社に謝罪も求め続けてきて、ようやく6月16日、本社の人事部長、人事課長、関東支社の人事部長がKさんの墓を訪れ丁寧に手を合わせました。その後、Kさんの自宅を訪れ、直接、遺族に真摯な姿勢で謝罪したのです。

ここまでくるのに10年余かかりましたが、粘り強い取り組みの勝利です。

パワハラのない職場をめざして

職場は依然としてパワハラ、ハラスメントがあり、新聞や雑誌にも取り上げられています。

今回の謝罪は昨年11月の国会で野党の追及もありますが、国会で追及されなくても、謝罪するべきものです。その点でも郵政の体質改善が求められています。

郵政ユニオンは、パワハラ、ハラスメントをなくし、一人ひとりが大切にされる職場にしていくためにたたかっていきます。一緒に頑張っていきましょう。

2020年12月8日、遺族に謝罪を求める本社前行動

2020年12月8日、遺族に謝罪を求める本社前行動

んぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしんぶんか